

東海道統一案内看板設置の手引き



びわこ大津草津景観推進協議会
東海道統一案内看板専門部会

1. 東海道統一案内看板の目的

「東海道統一案内看板」とは、沿道景観の統一性・連続性を目指して、東海道の歴史や、町の魅力を発信するために設置する、両市統一のデザイン看板です。

東海道沿道に、統一したデザインの案内看板を設けることで、行き交う人々の興味関心を高め、景観保全の意識向上につなげていきたいと考えています。

統一したデザインとするため、本取り組みでは、後述の「東海道統一案内看板ロゴマーク」を必ず記載することとしています。

2. 東海道統一案内看板のコンセプト

東海道統一案内看板の取り組みはいろいろな人に関わっていただくことにより、人のつながりや町内・市内・県内のつながり、そして宿場町・城下町など地域同士のつながりをもたらします。

町の景観を保全・創出する様々な活動が、「人や地域のつながり・回遊性・活力ある住みよいまちづくり」という、東海道統一案内看板のコンセプトにつながるよう、看板設置を通じたまちづくりに取り組んでいただきたいと思います。

3. 東海道統一案内看板ロゴマーク



江戸時代の五街道の1つとして、街道本来の意味合いとしての東海道を、広重の描いた字を参考に表現しています。

そして古代の五畿七道として「古事記」や「日本書紀」では「うみつみち」として詠まれる古来より美しかったであろう海沿いの国々を通る道を、波と通じる長い一本道で表現しています。

4. 東海道統一案内看板設置のルール

- 前述の東海道統一案内看板の目的およびコンセプトを逸脱しない看板としてください。
- 東海道統一案内看板ロゴマークは必ず記載してください。
- 「東海道」フォントは可能な限り記載をお願いしますが、フォント単体での使用はできません。
- 掲載できる情報は限られるため、看板を設置する事業所の情報や、周辺の観光情報などはQR(二次元コード)で読み取れるようにするなどの工夫をお願いします。
- QR(二次元コード)を企業HPへリンクさせることもできます。
- 看板のベースカラーは素材の色とし、フォントとロゴの色は統一の無彩色※とします。
また、コーポレートカラーは単色に限り使用できます。
- 素材は原則木、石、瓦などの自然素材とします。ただし、趣のあるものであれば、アクリルなどを使用することができます。
- 野立、壁面、突出など看板の形態は限定しませんが、しっかりと固定してください。立て看板など簡易なものであっても、固定、メンテナンスを考慮し設置してください。
- 看板の意匠・形態については、各地域の景観条例(屋外広告物条例)を逸脱しないよう考慮願います。

※無彩色とは、黒、白及びその中間色(様々な濃度の灰色)のこと。

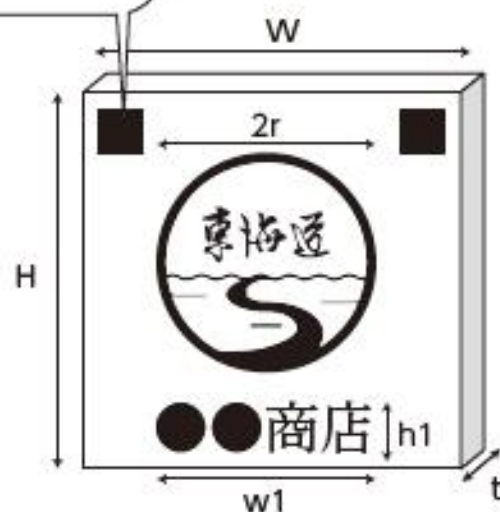
レイアウト例



$H=2W\sim 4W$
 $W1=1/3W$
 $2r=1/2W$
 $w1=2r$
 $t=10\text{mm}\sim 30\text{mm}$
 ただし、 $h1, w1$ の比率は企業の規定に基づく

QR (二次元コード)

- ・現在地情報
- ・企業情報 など



アスペクト比 $1:1\sim 3:4$
 $H=W$
 $2r=3/4W$
 $w1=2r$
 $t=10\text{mm}\sim 30\text{mm}$
 ただし、 $h1, w1$ の比率は企業の規定に基づく

5. 東海道統一案内看板の推奨例

- 大きさ：(縦)概ね1000mm (横)概ね300mm
- 素材：木材



滋賀県大津市京町一丁目付近



滋賀県草津市草津三丁目付近

※両看板とも、本取り組みに賛同いただいた事業者による設置

6. 東海道統一案内看板設置までの流れ

東海道統一案内看板の取り組みに賛同していただける方には、看板を設置していただけるよう大津市・草津市を相談窓口として、以下の流れで、東海道統一案内看板専門部会の取り組みを踏まえた支援をさせていただきます。

Case.1 個人・事業者による単独設置

① 事前相談

統一案内看板設置希望者は、窓口（大津市、草津市）へお問い合わせください。

② アドバイザー支援

年1回開催の相談窓口で、看板の意匠、形態、メンテナンス等について相談に応じます。具体的な看板作成手法等についても相談に応じます。

③ 看板設置届出

届出を受け、ロゴマーク、フォント、QR（二次元コード）のデータを提供します。
【様式1※】

④ 看板設置

実績報告をお願いします。
【様式2※】

Case.2 まちづくり団体と協議会による協同設置

「看板を設置したい」

マッチング

「地域のまちづくりを勧めたい」

・「看板を設置」してもらえませんか？
・看板を設置する際の相談窓口
・大まかな予算
・看板のルール

行政の働きかけ
・アドバイザー制度
・ワークショップ

具体的なアクション

ワークショップ開催例



※大津市ホームページ・草津市ホームページからダウンロードが可能です。

7. 東海道統一案内看板のメンテナンス

東海道統一案内看板の設置後には、定期的なメンテナンスや、管理が必要になります。管理及びメンテナンスの際には、特に以下の点に留意してください。

○安全性について

定期的な点検で、清掃、目視による安全点検を実施してください。最低でも3年、可能であれば1年ごとに支柱や、基礎、取付金具の詳しい点検を実施し、経年劣化に十分注意してください。

○景観について

破損や、汚れ、色落ちなどは周囲の景観を損なう恐れがあります。定期的な点検に努め、できるだけ早期に補修していただくことが重要となります。

8. 東海道統一案内看板相談窓口

びわこ大津草津景観推進協議会 事務局

大津市都市計画部都市計画課

〒520-8575 大津市御陵町3番1号 TEL077-528-2956

草津市都市計画部都市計画課

〒525-8588 草津市草津三丁目13番30号 TEL077-561-6507